

# 感染症 ひとくち情報

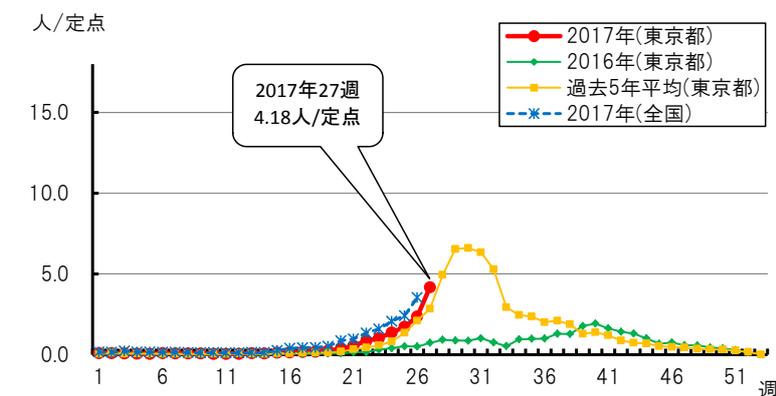
## 手足口病の発生が警報基準を超えています

2017年7月13日  
東京都健康安全研究センター

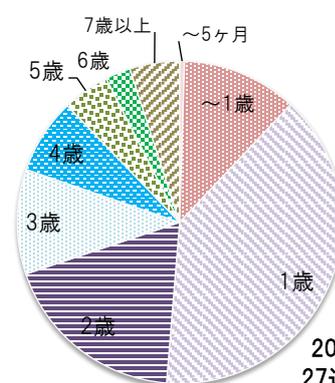
### 1 現在の流行状況（7月9日まで）

手足口病は一般的に夏に発生する感染症です。5月中旬より患者報告数が増加し始め、7月3日から7月9日（第27週）の1週間に報告された患者報告数は、定点\*あたり4.18人となっています。

現在、保健所別の患者報告数が警報レベルにあるのは、31保健所中12保健所で、その管内人口の合計は、東京都全体の30.54%になります。



\* 定点医療機関：患者が多い疾患を把握するために受診患者数を報告している都指定の医療機関



\* 0から6歳の報告数が全体の約9割を占めています。

### 2 手足口病とは？

手足口病は、エンテロウイルス属のウイルスによって引き起こされる感染症です。

主な症状は、口の粘膜・手のひら・足の裏などにできる2～3mmの水疱性の発しんで、3～7日程度で消失します。その他、発熱、食欲不振、のどの痛みなどの症状がみられます。重症化することはまれですが、合併症として急性脳炎や心筋炎が起きることもあります。



【水疱性の発しん】



国立感染症研究所 感染症疫学センターHPより



### 3 予防のポイント

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに触れることによって感染（飛まつ・接触感染）する感染症なので、一般的な予防対策（手洗い、うがい、咳エチケット等）を心がけることが大切になります。

症状がおさまった後も、2～4週間程度は便などにウイルスが排泄されるため、トイレの後やおむつ交換の後、食事の前の手洗いを徹底しましょう。

\* 東京都感染症情報センターの「手足口病」のページもご参照ください。

手足口病 東京都

検索

